



第1回まつうら音楽コンクールであいさつする浦さん

# 音楽を通して松浦を元気にしたい

松浦音楽連盟が第1回まつうら音楽コンクールを開催。

## Interview

浦 順平じゅんぺいさん

松浦音楽連盟理事長

市内の若年世代の音楽演奏家が中心となり、昨年7月1日に発足した松浦音楽連盟。発足から半年の間に「オータムコンサート」や「音楽コンクール」(記事は7ページに掲載)を開催するなど精力的に活動をしています。理事長である浦順平さんに吹奏楽に対する思いや今後の目標などを聞きました。

**C** この人に LOSE UP!  
まつうら **キラリ** 輝人

Q 「松浦音楽連盟」を立ち上げたきっかけは?

A 市内の地域文化の向上や音楽活動の普及・発展に貢献することを目的に設立しました。

Q 活動を始められて、良かったことを教えてください?

A コンサートやコンクールをすることで、市内の音楽活動が活発になったと思います。  
また、地域文化の向上にも貢献できているのではないのでしょうか。

Q 吹奏楽の魅力は何ですか?

A 人をひきつける力、心に訴える力があると思います。演奏することで自分自身も癒されますね。

Q 今後の夢、目標を教えてください。

A 設立後、半年のうちにコンクールとコンサートを開催できたことは、協力していただいた方々のおかげだと大変感謝しています。

今後、コンクール事業、演奏会事業、鑑賞会事業を柱として研修会、講習会なども行い、相互交流や技術向上のために活動したいです。  
音楽分野からもっと松浦を元気にしたいですね。

### ◎ PROFILE

浦 順平じゅんぺいさん  
(志佐・岸浜、32)  
松浦高校吹奏楽部 OB。  
高校時代からトランペットを始める。松浦ウインドオーケストラに所属。





フィオナ・マニング  
Fiona Manning  
オーストラリア出身

昨年日本で4回目のクリスマスを迎えました。このことに気がついた時、こんなに早く時間が経ったことが信じられませんでした。多くの人から、冬休みに家族に会いに帰国しないのですかと尋ねられました。日本で過ごすことに決めました。そのご褒美が「ホワイト・クリスマス」でした。12月25日、丸ごとの鶏肉を買いに佐世保市に行った時に少しか雪が降った時は、とても興奮しました。

オーストラリアのクリスマスは、日本のお正月と同じように、家族と共に過ごし、ごちそうを食べます。そして、2～3日は料理をしなくてもいいくらいに食べ物が残ります。私はローストチキンを2つと、ローストポテト、スタッフィング(チキンの中に入れる塩味のきいたパン・プディングのようなもの)、トマトと玉ねぎのパイ、

いろいろな種類の果物とディップ、そしてオーストラリア伝統のケーキ「パブロバ」を用意しました。もちろん、今回もたくさんの食べ物が残ってしまって、私は大みそかまでローストチキンのサンドウィッチを食べました。

大みそかの日は、『雪の降る中、温泉に入りたい』という昨年からずっと願っていた夢が叶いました。今年はとても寒くて、家の水道が3回凍結しても、雪を見ると日本にいる幸せを感じさせてくれます。今年も5回目のクリスマスを日本で迎えることになるでしょう。今年も、七面鳥を丸ごと焼いてみたいと思っています。オープンに入るといいけどね!



## 図書館の おすすめ本

市立図書館  
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで  
「松浦市立図書館」を検索



### 『風のマジム』

原田マハ／著 講談社

契機となったのは「社内ベンチャーコンクール 募集の告知」と祖母が引き合わせてくれた「風の育てた酒」。契約社員のまじむは漫然とした無風の暮らしを飛び出し、信念と体当たりで純沖縄産“風を感じるお酒”実現へと向かっていく。実話を元にしたサクセスストーリー。



### 『たれ耳おおかみのジョン』

木村裕一／著 主婦の友社

家犬のジョンは一大決心を胸に家を出た。その決心とは…おおかみになる! 迷子になった山の中で助けてくれたおおかみ、彼にあげずべてを捨て山の中へ。当然おとずれる試練にジョンは犬ならではの方法で立ち向かいます。

### ◆◆◆あかちゃんのお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんのお気に入りの1冊を紹介します。



志佐町笛吹免の金子真実さん  
ゆいと 結翔くん(4歳)、真帆ちゃん(1歳)

カメラマンの後ろのお父さんを見てみんなにっこり。お父さんは以前から図書館を利用し、最近では家族で来館するようになりました。写真に写っていないのが残念です。

#### 【お気に入りの本】

『きかんしゃトーマスのしかけめくり絵本』

W.オードリー／原作 ポプラ社

『100万回生きたねこ』 佐野洋子／さく 講談社

#### 【お母さんからひとこと】

「以前から家族で利用させていただいています。絵本を中心に本が大変充実していますし、もし読みたい本が図書館に置いてなくてもリクエストすれば準備していただけるので、とても利用しやすいです。今後も子どもの成長に合わせて色々な本を読みたいと思っています。『100万回生きたねこ』は私が小さいころからお気に入りの1冊です。」

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館も大歓迎です!